

月刊

ORANGE SUNSHINE

6

2024 Vol.40

得点后、グータッチを
して喜びを分かち合う
石井潤(#14/MF/4年)と
長田亮佑(#0/DF/3年)

- ・ サンライズ
- ・ スーパーカップ
- ・ スポンサー契約
- ・ 常笑気流

収穫と課題



RS HOME

TEAM SPONSOR LINK



アイフル
ホーム徳島



WAKACHIKU

若築
建設

制作者：新開羽夏、岸泉希

サンライズ

5/25(土)に広島県福山市沼隈総合グラウンドにて開催されたSUNRISE CUPに出場いたしました。2,3年生主体でしたが、良いプレーも多くあり、それぞれ成長を感じることができました。

第1試合

第2試合

徳島

愛媛

徳島

広島

1

1-0
0-0

0

1

0-2
1-1

3



コメント

プレッシャーとお昼時の暑さの中の試合でしたが、3回生の先輩方の指示や励ましがとても助かりました。本来ゴーリーである僕がやるべき仕事ですが、まだまだ知識も実力も劣っていると実感しました。しかし少し前のあかつきの時よりは成長できていたと思っています。1回生が入りリーグ戦も近付いてきて、チームの緊張感が大きくなるなかでも、さらに成長していくために日々努力していこうと思います。(＃41/G/厨琉斗/2年)



3回生を主体にしたサンライズカップを振り返って1試合目の反省を2試合目で修正できていたところは素直によかったと思います。一方で赤橙戦でも反省に出たアンセットからの失点やオフェンス力の低さなど上に頼っていたところが出てしまっていました。サンライズを通して3回生全員が自分達の代を強く意識でき、チームを率いる難しさを体感したよい機会でした。(＃34/MF/鈴木康生/3年)



サンライズカップでは来年のチームを見据えたメンバーで臨みました。自分は調子良かったので楽しかったのですが、後から動画を見返してみるとやはり自分たちの代のチームの課題が浮き彫りになりました。そういう点では今回のサンライズカップに参加することができて良かったと思います。(＃5/DF/岡部一郎/3年)



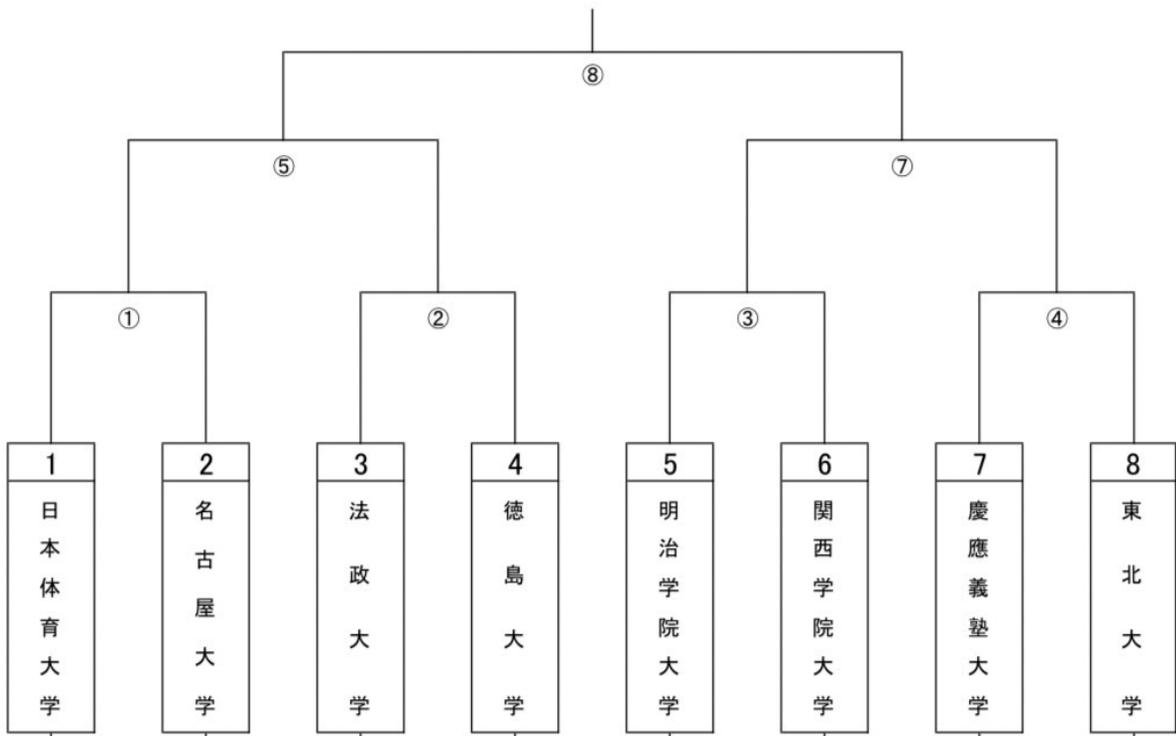
スーパーカップ

6/1.2(土,日)に時之栖にて開催された第7回スーパーカップに出場しました。結果は、8チーム中6位でした。

他地区のトップチームが揃う中で、Hard Workを発揮し、たくさんの収穫を得ることができました。同時に課題も多く見につき、チームや個人を見つめ直す有意義な2日間となりました。

以下が今タームの出場校です。

決勝戦



結果報告

1日目 (6/1)

徳島

法政

徳島

名古屋

1

0-2
1-2
0-2
0-3

9

9

2-0
4-1
2-1
1-1

3

2日目 (6/2)

5位決定戦

徳島

東北

0

0-4
0-2
0-1
0-1

8

左から順に
#27/L/●●●● (3年)
#69/G/●●●● (4年)
#77/L/●●●● (3年)
#0/L/●●●● (3年)

1位 法政大学
3位 慶応義塾大学
5位 東北大学
7位 関西学院大学

2位 明治学院大学
4位 日本体育大学
6位 徳島大学
8位 名古屋大学

コメント

※スーパーカップでは、背番号を変更して出場しています。



2.3回生で参加したときは全敗したので、勝利できたという点ではよかったです。しかし法政、東北戦ではオフェンスが機能せず惨敗し、他地区との力の差を痛感させられる結果となりました。約1ヶ月後に迎える開幕で大きく成長したオフェンス陣をお見せできるよう、まじでほんまにがちで頑張ります。部活も院試も勝ち切る。やるよっ (#33/AT/三上春佑/4年)

スーパーカップでは1勝しかできなくとても悔しかったです。個人目標としていた点をとるということに関しては達成出来たのでプラスに捉えている反面、オフェンスの決定率の悪さや持ち直す力の無さが非常に目立った試合であったと思います。このことを非常に重く捉え改善していきます。スーパーカップで得られた反省や他地区の技術などを活かしリーグ戦優勝します！！ (#34/MF/佃琉央/3年)



他の選手も、掲示板にスーパーカップの感想などを書き込んでいます。ぜひそちらもご覧ください！

コーチコメント

スーパーカップをご存知ない方も多くいらっしゃると思います。スーパーカップは各地区の上位校、東京の1,2部校等が参加する大会になります。

今回参加したスーパーカップの2ターム目はかなりハイレベルなチームばかりでした。特に関東のチームには学生で日本代表がいるようなチームもあり、徳島大学からすると圧倒的に挑戦者という立場でした。

この大会を通して、他地区のレベルの高い選手やチームを見ることで、選手は得られるものが相当あったと思います。個人能力の差やラクロスの思考の差など、まだまだ伸びる部分はいくらでもあるなという状況です。

リーグ戦開幕まであと少しですが、中四国優勝を必ずする為にも、選手と共により成長していきます。ご声援のほど宜しくお願いいたします。

(AC/小山楓生/24期)



スポンサー



5/18(土)に、OBの表佑樹さん(22期)が在籍する 若築建設 株式会社様と新たにスポンサー契約を結びました。中四国制覇を目標に掲げ、様々な方針を立てて活動していることに称賛をいただきました。

私たちの活動資金を援助していただけることになりました。ありがとうございます。また私たちは、SNSアカウントを使用し、企業情報や採用活動情報を発信・拡散いたします。

共に成長するようなより良い関係を築いていくために、中四国制覇を目指して日々活動してまいります。よろしくお願いたします。



WAKACHIKU

Ichikawa Yukihiro

市川 千裕

Next...

多田 風三也(20期)

(20期)



常笑気流



【学生時代の思い出】

一番の思い出はやっぱり朝練です。朝が早く、何が何でも遅刻しまいと、次の日の練習着を着て準備万端の状態に寝ていたりもしました。LINEの着信音で目覚め、時間を確認したときに朝練開始の5分前だった時の絶望感は今でも覚えております。同じ経験をされた方もたくさんおられるのではないのでしょうか。

それ以外では、ラクロス部として活動していく中で、練習中だけでなく様々な場面で、自分達で考え、意見を出し合う。そんな機会がたくさんあったかと思えます。私自身、自分の考えを周りに発信するという事が凄く苦手でした。今でも苦手ではありますが、そういった事は、社会人になってからは特に求められる能力かなと思えますので、部活動を通して凄く良い経験ができていたんだと身に沁みて感じております。

【近況報告】

最近、7年間勤めていた全国勤務の会社から転職し、今年の4月から地元である和歌山県に帰ってきました。また、1月には第1子も誕生しました。新たな環境での仕事、それから子育てと、慌ただしい日々を送っております。

また、大学を卒業してからは全くと言っていいほど、運動していないため、飲んで食ってを繰り返しているうちにだいぶ太ってしまいました。頑張っって痩せようと思えます。